

Bambino

最近の暑さは命の危険を感じることもあります。テレビでは、熱中症や水の事故で命を落としたニュースが連日報道されています。

夏休みになるとどうしても大人の管理がない中、子どもだけで過ごす時間が長くなります。子どもだけで川や海、近くの水辺で遊ばないようにご家庭でも必ずご指導ください。

また、遊びに行くときは涼しい服装で、多めの水分と日よけの帽子や傘を持たせていただきますようお願いいたします。

せっかくの長い休み、子どもたちには、学校ではできない色々な体験や、自分の興味を広げるような経験をしてほしいものです。

保護者の皆様におかれましては、子どもたちと共に、生活リズムや過ごし方について、今一度、一緒に考えていただき、ゲームや動画ばかりに頼らない夏休みになるよう、ご指導いただけたらと思います。

7・8・9月の主な行事

7/25(木) 夏の学習会 9:00~11:00(一丘中学校)

8/ 6(火) 全校登校日 9:40下校

8/13(火) 8/14(水) 8/15(木) 泉南市学校閉庁日

8/26(月) 2学期始業式 10:30:下校



9/ 2(月) 給食開始 通常授業開始

9/ 4(水) 委員会

9/11(水) オープンタイム

かいごようひん くるまいすたいけん

介護用品・車椅子体験 3~6年 7/8(月)~7/9(火)

7月8日(月)7月9日(火)の二日間、介護用品や介護ベッド、車椅子、電動車椅子を扱う会社(パラマウントケアサービス・プラスワン・セリオ)の皆さんが、体験学習の出前授業に来てくださいました。



介護用ベッドや介護用品がどのような場面で使われ、人々の役に立っているのか。また、体が不自由な人がいかに快適に過ごせるのかを考えた様々な工夫を、実体験を通して学ぶことができました。



3・4・6年生は、校内を車椅子や電動車椅子で移動し、車椅子を利用する方がどんな場面で困るのか、どんな工夫をすれば誰もが不便を感じずに過ごせるのかを考えました。



5年生は、新家駅方面、長慶寺方面、一丘中学校方面、ネスティ方面に分かれて、実際に車椅子で自分たちの街に出かけました。子どもたちは、日頃気にも留めなかった車止めの柵や些細な段差、水路から掬い上げたゴミや枯れ草が、車椅子が通るのに邪魔になったり通れなかったりすることに気付くことができました。

ねんせい がつ か か りんかいがっこう いきました。とうじつ こどもたちのようす いちぶ しょうかい
5年生は、7月3日~4日に臨海学校に行きました。当日の子どもたちの様子を、一部ご紹介します。



かいこうしき あと すなはま も あ すなはま ひ たからさが
開校式の後、砂浜オリンピックで盛り上がりました。砂浜で、タイヤ引き、ビーチフラッグ、宝探しなどを
たの ねちゆうようぼう あいま はまべ おも いっきり みず あ あそ
楽しみました。熱中症予防もかねて、合間に浜辺で思いっきり水をかけ合って遊びました。



ばんごはん た おえたころにはあつさもやわらぎ、いよいよたのしみにしていたキャンプファイヤーがはじ
たの おど こ いっしょうけんめいかんが じゆんび
ゲームしたり踊ったり、ウエーブをしたり。子どもたちが一生懸命考えて準備したキャンプファイヤーは、ど
れも盛り上がり、大成功でした。



キャンプファイヤーの残り火
で、みんなでマシュマロを焼い
て食べました。

キャンプファイヤーの後の
「肝試し」では、怖い児童は先生
たちの手を握ってクリアしました。

二日目の朝、起きてすぐの
「朝の集い」で、ラジオ体操や
鬼ごっこ、ダンスをしました。



朝食^{ちようしょく}を食べてから、「いかだ体験^{たいけん}」をしました。いかだは、グループのメンバー全員^{ぜんいん}が息と力を合わせないと思う方向に進みません。初め^{はじめ}はなかなか進まなかったグループも、最後^{さいご}には掛け声を合わせながら漕^こげていました。掛け声は、「ひるめし！ひるめし！」でした。



いかだ体験^{たいけん}の後、海で遊びました。先生たちも子どもと一緒にアクセル全開^{ぜんかい}で遊んでいました。皆でへとへとになるまで遊んだ後^{あと}に、昼ご飯^{ひるごはん}を頂きました。しっかり遊んでお腹^{なか}がすいたのか、ご飯を大盛り^{おおも}りにしてもらっている子が多かったです。



昼ご飯^{ひるごはん}の後、海に散歩^{さんぽ}に行きました。大声^{おおこゑ}で自分の思いを叫^{おも}んでいる子や、ぼんやり海を眺^{なが}めている子など、各々好きなように過^{すご}していました。閉校式^{へいこうしき}では、たくさんの児童^{じどう}が感想^{かんそう}を発表^{はつひょう}していました。今回の臨海学校^{りんかいがっこう}で得^えた感動^{かんとう}や経験^{けいけん}が、これからの人生^{じんせい}の良いビタミン剤^{よざい}として心^{こころ}に残^{のこ}ってくれたらと思います。